

2017年度第1回環境科学部環境フィールドスクール「奥雲仙・田代原のミヤマキリシマの保全活動」が行われました。

2017年度第1回環境科学部環境フィールドスクール「奥雲仙・田代原のミヤマキリシマの保全活動」が、NPO 法人奥雲仙の自然を守る会、九州郷づくり共助ネットワーク研究会、林野庁九州森林管理局長崎森林管理署、環境省九州地方環境事務所雲仙自然保護官事務所等の方々のご協力を受け、5月13日（土）に行われました。参加した学生達は、国立公園のあり方やミヤマキリシマ保護の意義などについての講義を受けた。その後、ミヤマキリシマ保全活動の体験を通じて、樹林化によって草地環境が縮小するとともに、他の低木との競争の中でミヤマキリシマが衰退しつつある実態について学びました。また、本活動は5月16日の長崎新聞11面で紹介されました。



アクティブレングジャーによる講義



雲仙地方の文化とのふれあい



フィールドスクール中の集合写真